

第11回 秋まつり

9月29日(日)午前10時から、里・美地区センター全館を使い、第11回里・美町連秋まつりが開催されました。昨年は、北海道胆振東部地震の影響で中止となり、2年ぶりの開催です。

里塚幼稚園マーチングバンドの演奏で開幕し、約1,000名の来場者が各種遊び・体験コーナーや飲食コーナーをめぐり、最後には多目的室でバナナのたたき売りに続いて抽選会があり、1日いっぱい楽しんでいました。

オープニング



「フラッシュキッズ」の演奏

大抽選会



屋台 & 野菜販売



カレー・うどんコーナー



ジャンボフランクコーナー



ポップコーンコーナー



焼きそばコーナー



焼き鳥コーナー



綿あめコーナー

ゲームコーナー



あめすくい



くじ引き



スタンプラリー



ダンボールフリスビー



バルーンアート



バナナたたき売り



吸盤ダーツ



ホ児童会館コーナー



ヨーヨー釣り

体験コーナー



AED体験



スケルトンゴミ収集車



ドライブシュミレーション



はしご車による救出訓練



健康測定コーナー



消火器放水体験



北海道パトカー試乗



第27号 2019.12 発行
里塚・美しが丘地区
町内会連合会

札幌市清田区里塚2条5丁目1-1
里塚・美しが丘地区センター内
電話 011-884-1210
里・美町連ホームページアドレス
<http://satomitiku.skr.jp/>



交通事故防止総決起集会(秋・冬)

交通安全運動に合わせて年4回行っている交通安全街頭啓発が、今年も春と夏に続いて、秋は9月20日(金)、冬は11月12日(火)に開催されました。

秋の街頭啓発は里・美町連が主催し、フードパントリー美しが丘店前にて、美しが丘小学校の児童を含め、総勢約100名で行われました。

また、冬の街頭啓発は清田区交通安全運動推進委員会が主催し、清田区の5地区の町内会連合会や清田区災害防止協力会などから約500人が参加されました。

今年9月には美しが丘(国道36号)で、貨物車と軽自動車正面衝突して同乗者が死亡するという交通事故が起き、7年以上にわたって続いてきた里・美地区の「交通事故死ゼロ」が途絶えてしまったこともあり、秋、冬とも参加された方々は「スピードダウン」「シートベルト着用」などと書かれた黄色のフラッグを通行する車のドライバーに示し、いつにも増して真剣な表情で安全運転を呼びかけていました。



防災・防犯部研修会

研修会は9月7日(土)、各町内会・自治会の会長、防災防犯部長ら19名の参加により、北海道胆振東部地震の震源であった厚真町にて行われました。

里・美地区センターからマイクロバスで厚真に向かい、始めに甚大な土砂崩れがあった地域の復旧工事中の現場を見学しました。山崩れの様子は、震災直後からテレビで何度となく放映されていますが、実際に見渡す限りの山々の斜面が崩落し、家屋や車は押しつぶされ、木々がなぎ倒されている様子を目の当たりにすると、参加者からは「スケールが大きい。想像を絶する被害だ！完全に復旧するには何年かかるのか?」「地震、自然災害に対する無力さを感じる」となどの感想が聞かれました。

見学の後は、「こぶしの湯あつまにて、震災に対する日頃の備えなどを語らいながら昼食と温泉を楽しみました。



子ども防災体験

8月1日(木)、里・美地区センターで里塚児童会館や三里塚小ミニ児童会館などに引率された小学生54人が参加し、子ども防災体験が行われました。

この行事は、平成29年から毎年夏休みに、清田消防署里塚出張所職員の協力により、子どもたちに火事や地震などから身を守る行動を実際に体験してもらう目的で行われているものです。

子どもたちは、火事やケガなどの様子が描かれたパネルを見ながら119番通報のデモ体験をしたり、煙が充満した部屋から避難する訓練などを行いました。どの子どもも真剣な表情で消防士の説明に耳を傾け、訓練が終わったあとはみんなでお弁当やゲームの時間を楽しんでいました。



環境衛生部 古着回収秋

10月13日(日)、里・美地区センター駐車場において、環境衛生部による古着回収が行われました。古着回収は、家庭から出るゴミを減らして資源を有効に活用する目的で、回収した古着のほか、靴、カバン、ぬいぐるみなどを東南アジアなどに送り、再利用してもらうものです。

今回は、関東・甲信・東北地方などで甚大な水害をもたらした台風19号の影響を受け、札幌では雨こそ降らなかったものの、強い風が吹き荒れる中での開催となりましたが、326名の来場者があり、持ち込まれた古着などは約3.2トンにも達しました。ご協力いただいた皆様、大変ありがとうございました。

今回で6回目の開催となり、だいが各家庭に定着してきたと思っています。

今後とも継続できるように努めていきますので、ご協力よろしく願っています。



里塚町内会会館前に郵便ポスト

里塚町内会会館前(美しが丘1条9丁目)に、新たに郵便ポストが設置されました。

平成30年までは、松尾ジギスキャン里塚店前(国道36号沿い)にポストがありました。が、同店の閉店とともにポストも撤去されてしまったため、近隣の5つの町内会合同で郵便局に要望し、11月14日(木)に設置してもらったものです。ぜひご利用ください。



「特殊詐欺防止対策用グッズ」の贈呈

特殊詐欺防止対策として固定電話に取り付けると、受話器を取った時に「この電話の音声は録音されています」とアナウンスと警告音が鳴り、証拠が残ることを嫌う詐欺からの電話を撃退することが期待されるグッズが開発されました。

この度、モニターとして使用していただけの方に豊平警察署が提供していただけたことになったため、福まちから里・美地区の一人暮らしの高齢者を対象に、モニターを募集したところ、5名の方から申し込み頂きましたので、この装置を贈呈し、固定電話に取り付けさせていただきました。



清田区壮年野球大会

8月25日(日)に、清田区壮年野球大会が開催されました。清田地区の5町連と清田区役所の6チームで行うトーナメント大会です。

ここ数年勝利の女神が微笑んでくれない中、宿敵北野町連との初戦です。

でも！今年の里・美町連は違います！初回からヒットの連続！！先制点をあげたのです。

1回、2回と点数を重ねホームランも飛び出し絶好調の里・美町連チーム。このままいけば悲願の勝利は目前です。

しかし、相手もジリジリと追い上げてきます。あと2回抑えれば…あと2回…と祈る中、最終回を目の前にして、北野町連の猛打に次ぐ猛打であっけなく

逆転され、ついには5対12でワールドゲーム負けを期してしまいました。

結果は結果として、選手の皆さんの真剣な眼差しは本当に素晴らしいものでした。来年こそ、1勝、そして優勝を勝ち取りましょう！！



里・美町連ゲーム&ウォーキング

9月1日(日)に、ゲーム&ウォーキングが開催されました。例年通り地区センターを出発し、平岡公園内を散策した後地区センターにゴールする全長7km程のウォーキングです。

若干の曇り空の中、後藤副会長、与那覇所長の挨拶の後、いざ出発です。

しかし！中間地点を過ぎた頃なんと通り雨が！！引率の体育部メンバーに連絡を取ったところ「雨なのか汗なのかわかりません」との返答が…。雨はすぐに止んだのですが、地区センターで待機している我々はみなさんの無事を祈ることしかできませんが、ほどなくして、皆さん笑顔でゴールをしてくれたのでまずは一安心でした。(皆さん、風邪などひきませんでしたか?)

その後、朝もぎのあまーいトウキビで小腹を満足させた後、恒例ビンゴゲーム大会の始まりです。

番号が当たった時の笑顔、なかなか当たらない時の寂しそうな目、笑いあり涙ありのビンゴゲーム大会です。

そして、引きの弱さなのか、忸度なのか後藤副会長の最後のビンゴで終了となりました(笑)。

また来年みなさんのご参加お待ちしております。(女性部の皆様、トウキビのお手伝い本当にありがとうございました)

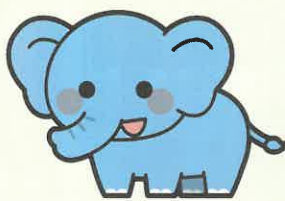


福まち日帰りバス旅行

里・美地区福祉のまち推進センターでは、残暑が残る9月5日(木)、一人暮らしの高齢者とその見守り役あわせて93名が、3台のバスに乗り込み日帰りバス旅行に行ってきました。

この旅行は、赤い羽根共同募金から支援を受けて実施しているもので、今年はシャトレレーザガトーキングダムと円山動物園に出かけてきました。

ガトーキングダムではホテルのランチバイキングを楽しみました。品数も多く、おしゃべりがはずみ、皆さん時間が足りないようでした。また、動物園では、キリンや今春ミヤンマーからやってきたアジアゾウなどを見学しました。多くの施設や動物舎がここ10年のうちに建替えられており、子どもや孫を連れてきたとき以来など、久しぶりに来られた方々は「昔の動物園とまるで違う！」などと驚いていました。



平岡緑中学校ブロック屋食会・研修会



平岡緑中学校区の「カレー交流会」が、9月27日(金)にライブヒルズ町内会館で開催されました。

カレー交流会は、昨年までは地区センターのみで行っていましたが、今年は、中学校区ごとに行うこととし、このたびライブヒルズ町内会館で初めて開催しました。

これまで地区センターまではなかなか行けなかった方にも来ていただき、「みんなと食育とおいしい」と喜んでくれました。そして、町内会の女性部の皆さんもお手伝いに来てくれました！

また、「ブロック研修会」が10月31日(木)に里塚緑ヶ丘町内会館で開催されました。



研修会は、これからの高齢化時代は地域の交流と相互理解が大切と考え、「里美気にかける運動」の一環として始めた児童委員の皆さんが一堂に会し、意見交換を行っています。一昨年の平岡中学校区、昨年の真栄中学校区に引き続き、今年は平岡緑中学校区で開催しました。

研修会当日は、社会福祉協議会、区役所、地域包括支援センターなどからアドバイスいただいた後、町内会ごとに分かれて、見守りなどの活動について意見交換を行いました。実際に顔を合わせることで、地域の横のつながりが深まったと感じていましたが、最後の講評で平岡緑中学校の矢野校長から、「皆さんの取り組みがわかるとても良い研修会でした」との感想をいただきました。



特殊詐欺被害防止のための講話を開催

11月17日(日)羊ヶ丘通町内会館大ホールにて、同町内会主催で豊平警察署生活安全課長の土谷 渉様による「特殊詐欺被害防止のための講話」を開催しました。

町内会員を始め近隣町内会の方も含め56名が参加し、身振り手振りを交えた「最近の特殊詐欺の手口」の実演や、最近よく聞かれる「電子マネー」とはどんなものかの説明、「どうしたら詐欺にダマされずに済むか」「どのように対処するべきか」などをユーモアあふれる口調で分かりやすくお話ししていただき学びました。

特殊詐欺の手口が巧妙化し、清田区内でも高齢者に限らず若い世代も含め多くの被害者が発生しているそうです。

◆「俺は、私は、大丈夫!」だと思わずに、誰もが騙される危険性があると思うこと ◆キャッシュカードやクレジットカードを絶対に渡さない、暗唱番号を教えない ◆よくわからない事には手を出さない(電子マネー、各種契約や投資等) ◆身に覚えのない請求のハガキが届いても書かれてある連絡先に電話しない ◆電話でのお金の要求に対し、お金を送ったりATMへ行ったりしない ◆電話は留守番録音を設定しておき、むやみに電話に出ない ◆少しでも怪しい、または不安などを感じたら、慌てずに家族や警察にまず相談をする

これらの事などが詐欺に会わない有効な対策とのことでした。

講話の後、参加者からも多くの質問があり、とても有意義な講習会となりました。



里塚中央早期復旧を願う集い

9月8日(日)、里塚中央会館周辺で「里塚中央早期復旧を願う集い」明日に向かって がんばるべえ さとづか」が開催され、多くの来場者で賑わいました。

これは、里塚中央町内会が主催したイベントで、震災から1年を契機に、地域の方々の交流とこれまでの復興に協力をしてくれた関係者に、復旧の現状を見てもらうとともに、感謝の気持ちも伝えたい意向で開催されたそうです。

焼き鳥やビールなどの販売が行われたほか、北海道胆振東部地震の直後に炊き出しを行った飲食店によりハヤシライスやうどんの販売も行われ、訪れた人は晴天の下、笑顔で食事を楽しんでいました。また、札幌市消防音楽隊や平岡中学校吹奏楽部も演奏を披露し、会場を盛り上げてくれました。



声を合わせて...

清田区少年少女大なわとび大会

10月19日(土)、清田区体育館にて「第21回清田区少年少女大なわとび大会」が、区内の小学校4校から33チーム375名の子どもたちが参加し開催されました。

開会式では、開会宣言、大会長の挨拶の後、ゲストのダブルダッチパフォーマンスチーム「フースロープス」のアトラクションに子どもたちは、大きな歓声と拍手を送り、次は、自分たちと気合を入れて行うようでした。

競技は、低・中・高学年の3部門に分かれて行います。里・美地区からは、平岡南小が低学年の部3チーム、中学年の部5チーム、高学年の部5チームが参加しました。準備体操を終え、競技開始です。声を合わせて「せーの」と大なわが回り始めると、子どもたちの声、声援、拍手が体育館いっぱいに響いていました。

今大会最高記録は、清田緑小Infinity Jumping 278回でした。競技を終えた子どもたちは、みんな達成感に満ちた凛々しい顔をしていました。



里・美地区の入賞チーム

低学年の部	平岡南キッズ	143回	準優勝
中学年の部	2代目 絆・協力・可能性 ∞	130回	第3位
高学年の部	やる気100%南っ子!	211回	準優勝

おめでとうございます!! 真栄中学校 開校30周年記念式典

11月1日(金)、真栄中体育館にて記念式典が行われました。会場に入ると、美術部が制作したモニUMENTが迎えてくれました。テーマは「人・心・宙」心の温かさ、豊かさ、真栄中を愛する気持ちを持ち、広い宙の下、色々な人々とならうという願いを込めた作品だそうです。

式典は、スクールバンドの素晴らしい演奏で始まり、平田校長の式辞、PTA会長の祝辞、生徒代表のこゝろでは「学校祭・合唱コンクールを通して、明るさ、頑張る力は、30年経っても変わっていません」と力強く話していました。また、30年の歩みがスクリーンに映像で流され、全国で活躍している卒業生のメッセージも紹介されました。

最後に「ふるさと」校歌を鹿討元校長の指揮でスクールバンドと全校生徒の素敵な歌声で会場を響かせ式典は終わりました。



札幌市安全で安心なまちづくり功労者表彰

安全で安心なまちづくり活動に顕著な功績のあった方を対象に11月5日(火)、札幌市役所にて表彰式があり、清田区から里塚中央町内会会長の盛田久夫さんが表彰されました。

盛田さんは、北海道胆振東部地震により同町内会が甚大な被害を受けた直後から、里塚中央災害復興委員会委員長としても、被災者の安否確認、町内パトロール、一人暮らしのお年寄りの見守り活動などを率先して行ってきた功績が認められたものです。



札幌市優良青少年及び青少年育成者表彰

健全な青少年を育むための指導や環境づくりの推進に顕著な功績のあった方を表彰するもので、11月9日(土)に表彰式があり、里・美地区から緑ヶ丘子ども会の石田明美さん(里塚緑ヶ丘町内会)と里・美地区青少年育成委員会の佐藤美枝子さん(里塚緑ヶ丘町内会)が表彰されました。



クリーンさつぽろ衛生推進功労者表彰



環境美化やごみ減量などに顕著な功績のあった方を対象に11月23日(土)、カナモトホール(札幌市民ホール)にて表彰式があり、里・美地区から清田区クリーンさつぽろ衛生推進員の下山秋紀さん(桂台町内会)が表彰されました。

編集後記

今年、町内会に関わる事が多く、様々な方と出会いました。助けていただくことが多々ありましたが、女性として、子育てをしてきた母として、そして今は新米祖母として、私の経験してきたそれぞれの立場を活かし、もう少しお役に立てるよう努めたいと思います。

広報部

部長 北村 篤介 副部長 奥谷 典子
編集委員 奥谷 典子 オザバー 与那覇政史